

# 資料5

第7回講習会 プログラム2

## 森づくり計画立案の 基本的考え方

森の世話人活動支援事務局

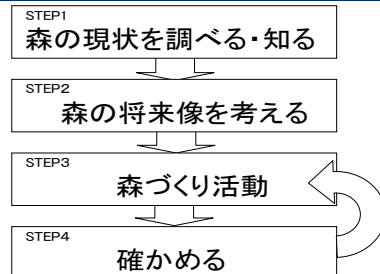
1

## 森づくりの計画をたてる必要性

1. 目標とすべき森に近づけるためには**必須**
2. 森づくりの**方向性を確認**・検証できる
3. 団体の森づくり**スキルにみあった活動内容**とすることで、**事故や怪我を防止**
4. 森をデザインし、それに向けて活動する**楽しみ**

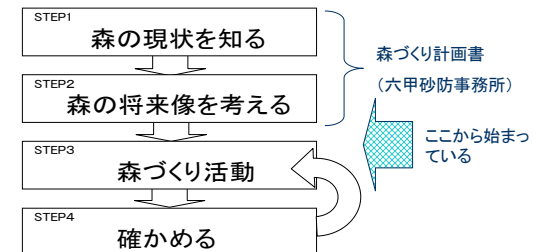
2

## 森づくり活動の流れ



3

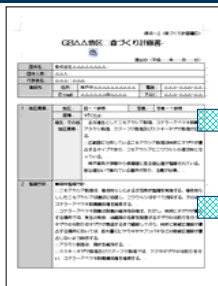
## 森の世話人に多いケース



4

資料6として、各団体の森づくり計画書をお渡ししています

## 森づくり計画書の情報



### ●森の現状●

#### 【1.地区概要】

地域の植生やその他留意事項について記載

### ●森の将来像●

#### 【2.整備方針】

植生それぞれに対し、目指すべき植生とその方法を記載

5

## 現況把握方法

### 【専門家による調査】

- 植生調査
- 毎木調査
- 種組成調査

(長所・短所)  
詳細な情報が得られる  
結果の活用が専門家に限定  
労力が大きい

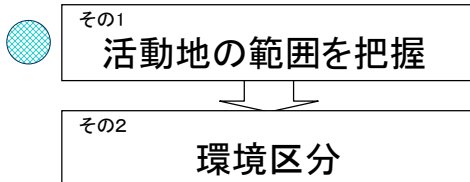
### 【市民による調査】

- 地形(尾根、谷)
- 林内の状況  
(明るい・暗い)
- 下草(ネザサ)の有無  
(多い・少ない)

(長所・短所)  
情報量が少ない  
わかりやすい・扱いやすいデータ

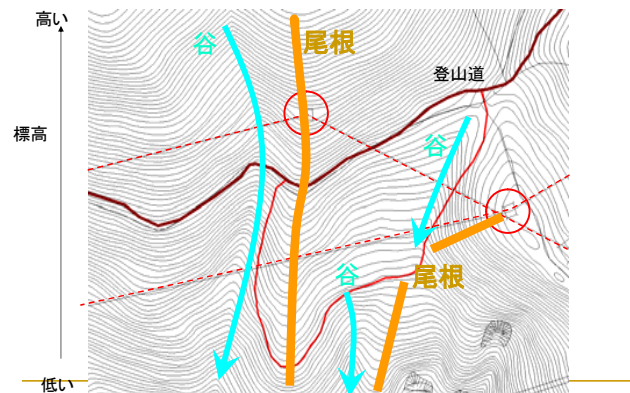
6

## 市民による調査(森の現状を知る)

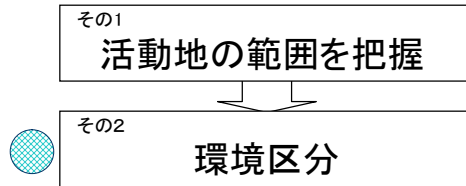


7

## 活動地の範囲の確認(現状把握)

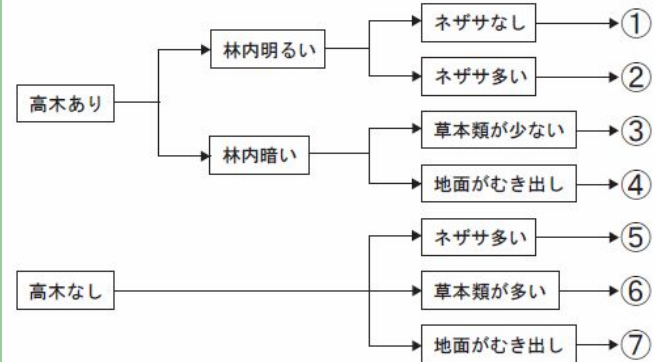


## 市民による調査(森の現状を知る)

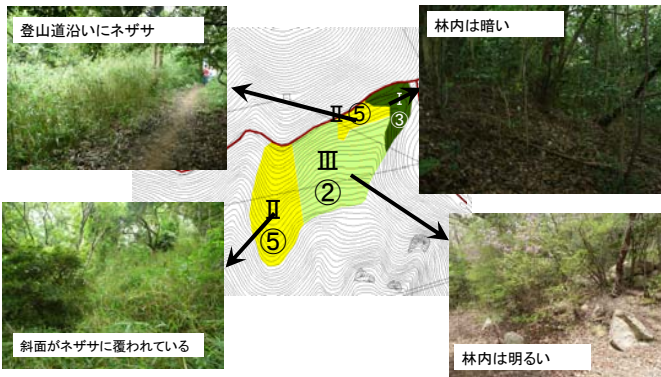


9

## 環境区分例



## 踏査結果(環境区分)の書き込み



## 森の将来像を考える

高木	林内	林床	No	方針	森づくり内容
あり	明るい	ネザサなし	①	現状維持	—
		ネザサ多い	②	林床管理	ネザサの伐採
	暗い	草本類が少ない	③	日照改善	常緑樹の伐採
		地面がむき出し	④	日照改善	常緑樹の伐採
なし	—	ネザサ多い	⑤	樹林の早期形成	伐採・植樹・保育
		草本類が多い	⑥	樹林の早期形成	伐採・植樹・保育
		地面がむき出し	⑦	樹林の早期形成	植樹・保育

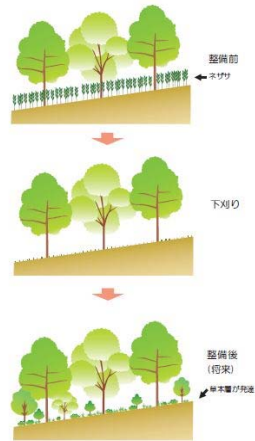
12

## 樹林整備の方法(1)

森づくりハンドブック計画編 (P30)

林床にネザサが多く、他の樹木が育っていない場合にはネザサを刈り取り、草本層の発達を促します。

高木	林内	林床	評価	方針	森づくり内容
あり	明るい	ネザサなし	良好	現状維持	—
あり	暗い	ネザサが多い	悪化	林床管理	ネザサの伐採
あり	暗い	ネザサが少くない	悪化	日照改善	常緑樹の伐採
なし	—	ネザサが多い	悪改善	日照改善	常緑樹の伐採
なし	—	ネザサが多い	悪改善	樹林の草層形成	伐採・植樹・保育
なし	—	地面がむき出し	悪改善	樹林の草層形成	植樹・保育



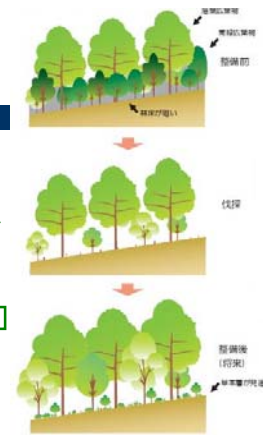
13

## 樹林整備の方法(2)

森づくりハンドブック計画編 (P29)

常緑樹が多く、林床が暗い場合には、常緑樹を伐採し、日当りを改善します。

高木	林内	林床	評価	方針	森づくり内容
あり	明るい	ネザサなし	良好	現状維持	—
あり	暗い	ネザサが多い	悪化	林床管理	ネザサの伐採
あり	暗い	常緑樹が少くない	悪化	日照改善	常緑樹の伐採
なし	—	常緑樹が多い	悪改善	日照改善	常緑樹の伐採
なし	—	地面がむき出し	悪改善	樹林の草層形成	植樹・保育
なし	—	地面がむき出し	悪改善	樹林の草層形成	植樹・保育



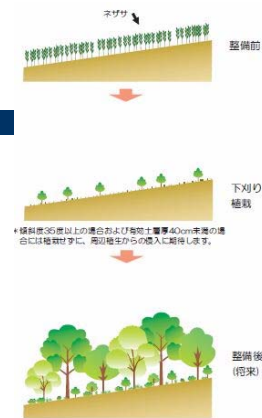
14

## 樹林整備の方法(3)

森づくりハンドブック計画編 (P24)

高木がほとんどはえておらず、ネザサが多い場合には、植栽を行います。

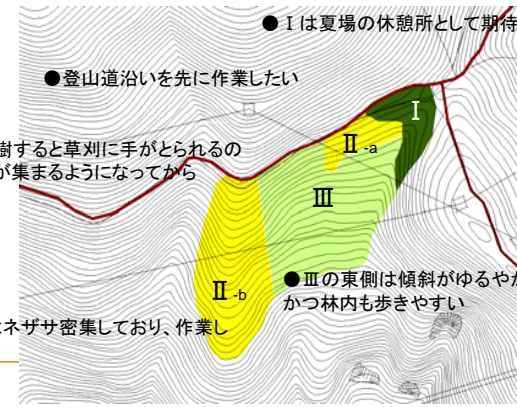
高木	林内	林床	評価	方針	森づくり内容
あり	明るい	ネザサなし	良好	現状維持	—
あり	暗い	ネザサが多い	悪化	林床管理	ネザサの伐採
あり	暗い	ネザサが少くない	悪化	日照改善	常緑樹の伐採
なし	—	ネザサが多い	悪改善	日照改善	常緑樹の伐採
なし	—	ネザサが多い	悪改善	樹林の草層形成	伐採・植樹・保育
なし	—	地面がむき出し	悪改善	樹林の草層形成	植樹・保育



15

## その他の要因(希望等)について整理

- I は夏場の休憩所として期待
- 登山道沿いを先に作業したい
- 植樹すると草刈に手がとられるので人が集まるようになってから
- II-a
- II-b
- IIIの東側は傾斜がゆるやかであり、かつ林内も歩きやすい
- II-bはネザサ密集しており、作業しにくい

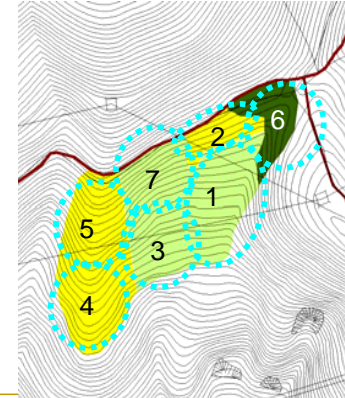


## 計画立案時の留意事項

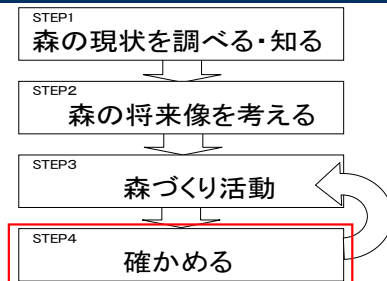
- 広い範囲に手をつけるより、まずは狭い範囲でもできる範囲をきれいにする
- 常緑樹も根を張り、土壌をつかんでいる。場所によっては伐採ではなく、枝落とし等で林内の日照条件を改善
- 日当たりが改善されるとネザサやクズが広がるため、周辺部のネザサ等についても伐採しておく
- アクセスのいいところや、傾斜のゆるやかなところから作業にとりかかる →安全第一
- 第三者の目があるため、登山道周辺は特にきれいに
- 植樹のための伐採面積は大きすぎないようにする  
→土壌流出防止

17

## 優先順位の設定



## 森づくり活動の流れ



19

## 確認

- 計画どおりにすすんでいるか、確認が必要。
- 進捗に応じて、柔軟に計画を見直すことも大事。
- 植栽地の維持管理(草刈)は同じ場所で何年にもわたって活動→見た目の変化はわずか→成果はゼロではない。下草の状況や苗木の生育状況についても確認・把握しておくことがモチベーションの持続につながります。  
⇒「森の成長記録」を活用

20

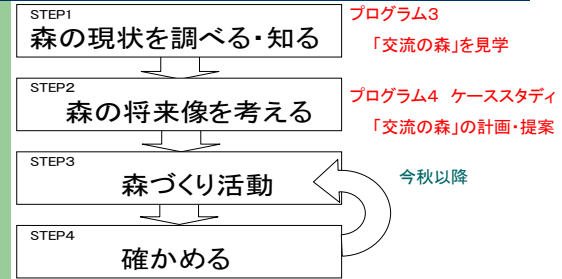
## 森の成長記録



21

[http://www.kkr.mlit.go.jp/roko/pr\\_media/plant/group/workshop/091002/pdf/003-seichou.pdf](http://www.kkr.mlit.go.jp/roko/pr_media/plant/group/workshop/091002/pdf/003-seichou.pdf)

## 講習会のこれからの流れ



22